

•スペースパークボランティアの会•

第9号

平成18年6月

発行：スペースパークボランティアの会 広報部会

〒963-8802 郡山市駅前2-11-1 郡山市ふれあい科学館内 TEL024(936)0201

スペースパークボランティアまつりII

今年も開催!!

今年もやりました。S.P.Vのボランティア活動の総決算、昨年に引き続き第2回自主イベント“スペースパークボランティアまつり～春休みだ!ボランティアと遊ぼう!!～”は3月24日(金)前夜祭の天体観望会から25日(土)、26日(日)にかけた2.5日間、「GO!GO!生涯学習」を合言葉に延81名のボランティア会員が来館者の皆様と楽しみました。

昨年は5日間という長期間の開催でしたが、今年はカレンダーの関係上館内の開催は2日だけとなり、期間中約3千人に及ぶ多くの皆様に楽しんでいただくことが出来ました。

今年もこの時期に合わせ宇宙のどこから來るのか、宇宙の財宝を地球の子供たちにプレゼントしようと、おなじみの音楽に合わせ、宇宙盗賊エスピー男爵も駆けつけました。子供たちは宇宙の財宝をゲット出来大喜びです。宇宙盗賊を捕まえようと宇宙飛行士も現れて、宇宙飛行士と記念写真を撮れたことも、いい思い出になったことだと思います。

宇宙盗賊は捕らえられることなく、うまく逃げ切ったようですから、来年のボランティアまつりにも駆けつけてくれることを期待しましょう。

その他の参加体験コーナでは、子供だけではなく大人も思わず手を出してしまう「昔遊び」や「太陽観測」、苦心の賜物、たらいや紙粘土球を利用した「クレータつくり」には大変感心していました。

実演体験コーナは、既に22階展望ロビーでは人気の「Nゲージ鉄道ジオラマショー」、この日のためにオリジナル



新作を創作した

「昔なつかし紙芝居」、キハ58系の実物体験「実物運転台出発進行」、世間を騒がせている耐震強度をビルの模型とユニーク講師がわかりやすく説明する「地震なんて怖くない」にも年齢層に関係なく人気が集まりました。

工作体験コーナでは、「くるくるタワー」「星座早見盤」「分光器」「天の川つくり」が子供さんを中心に大人気。工作の体験から科学や宇宙とか星に興味を膨らませていただければ嬉しくなります。

23階ホワイエ企画展では天文ボランティア会員の秘蔵写真展「レンズの中の宝石箱」が同時開催されました。S.P.Vは、ふれあい科学館を拠点とした生涯学習仲間の集まりです。1年間の活動成果は市民の皆様にどのように評価されたのでしょうか。これからも我々の生涯学習活動が社会を創る学びに結びつくように努力します。次のボランティアまつりもご期待ください。(久野 功)

案内 サービス グループ

紙芝居を通してお返しを

いつもとは違うボランティア室の雰囲気…。そしてたくさんの笑顔があふれる22階に、感激すら覚えた「スペースパークボランティアまつりⅡ」…。

初日(25日)午後の紙芝居のコーナーを担当させてもらいましたが、厳選された「題目」(実はどれも僕のお気に入りだったりします)に、読みながらしてます自分で感動しました。上演時間前から待ってくれている親子連れの姿にも、これまた感動です。さらに上演中の子どもたちに目をやれば(正直、そんな余裕はまだあまりありませんが…)、その真剣なまなざしに、またもや感動でした。

こんなにたくさんの感動を与えてもらったのだから、今度は紙芝居を通して、そのお返しができればと思います。その為にも案内ボランティアの諸先輩方に負けないように、修行をしなければ!!

昔懐かし 紙芝居



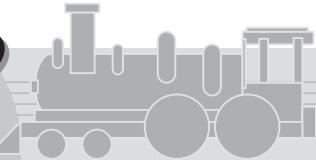
そんな感動の上演もひとまず終わり、その余韻に浸りつつも周囲を見回せば、昔遊びコーナーでは夢中になって遊んでいる親子の姿がありました。こりやちょっと出る幕ではないな thought たりしました。



さらに各コーナーを見てまわりましたが、どのメンバーもみんな輝いていました。ふだんの活動でこんなに多くのメンバーと同じ時間や空間を共有する機会もそうはありません。いい交流の場にもなりましたし、それぞれの個性が、それぞれの活動のスタイルに現れているような気がしました。ボランティアってそういうものなのかもしれません。自分の得意なことが、何らかのかたちで社会に還元できたら…その瞬間、ひとは輝けるのかもしれません。

それが、これから僕の活動の目標です。(二瓶)

鉄道ジオラマ グループ



心に残る出品を

「スペースパークボランティアまつりⅡ」が今年も開催されました。鉄道ジオラマグループでは現在、実物部品を活用した旧型SL汽笛などオリジナルグッズを所有していますが、今回はかつて昭和40年頃修学旅行列車「おもいで号」などで活躍した気動車運転台に電灯表示を付加した改良型を出品しました。

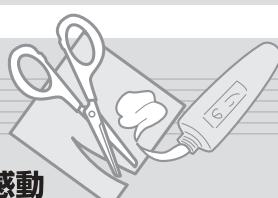
宇宙サイエンスなどをテーマとした各コーナーの一隅に運転台「実演体験コーナー」を設け、旧国鉄の制服や制帽を着用して、運転席に座った子どもたちは私たち会員とともにアクセルレバーや逆転機などを操作しました。また、点滅す



る運転表示灯をみつめながら今や運転士気分、なかには磐越東線の車内放送を暗唱したり「わたしの夢は運転士」と応え

てくれた子どももいました。昭和40年代までの黒煙を吐きながら力強く精一杯働くSLの姿には人間味があり、今の子どもたちの心にも残るものがあるのではないかと思いました。また付き添いの親たちもカメラのシャッターをきりながら、若き日のノスタルジアに浸っているようでした。これからも出品のレベルアップにより、当時の姿を少しでもリアルに伝えて行くよう努めていきたいと思います。(瀧田)

科学 グループ



作る喜びと完成した感動

春休みに開催した「スペースパークボランティアまつりⅡ」も大成功に終わり、多くのお客様に、手作りの楽しさと、実験の面白さを体験していただき、私もボランティアを行う楽しさを再確認することができました。科学ボランティアのブースでは、二つのストローを使った「クルクルタワー」作りを行い、参加した人は、どうして羽がくるくる回るのかに興味を持ち、羽の動きを楽しんでいました。大きな子どもはいろいろアイディアを出して、新しいタイプの「クルクルタワー」に挑戦していました。また、小さなお子さんのお父さんやお母さんに手伝ってもらいながら作る姿に、微笑しさを感じました。

身の回りにある品物で科学に目を向け、作る、完成、実験

するといった経験をした子どもたちは科学的なもの作りに一段と興味を持ったのではないかと思います。



テレビゲーム、パソコン、などの道具も、ものを作る知恵がなければできません。子どもにとって“どうして”と思う気持ちからはじまる科学とのふれあいは、大事なことだと思います。

完成した作品を、羽が回るかどうか緊張した顔でストローを吹き始め、上手くいった時の子ども達の笑顔に、ますますボランティア活動を頑張ろうと思いました。(吉田)

天文 グループ

昼間も輝いたぞ!!

ボランティア一年生の私にとって、この「スペースパークボランティアまつりⅡ」は一年生最後の(笑)大イベントでした。たくさんの人々を前に、昼ご飯も食べずてんてこ舞いになった時もありましたが、和気あいあいとしたチームワークで、天文の魅力や楽しさをいつも以上に発信できたのでは、と思います。

夜の観望会など大人が多い時間帯とは違って、小学生よりももっと下の年齢の子どもも多く、その時点でいつもと違うと思っていたのに、星座早見盤などの工作のブースにいた私は、まず自分がちゃんと作れるのかどうか、そして教えてあげられるのかが不安でした。

しかし、エスピー男爵の登場も手伝って皆で楽しく工作

できました。一日が終わってふと見ると、ノリと紙のインクで黒くなっていた自分の手が印象的でした…。

活動時間が主に夜の天文ボランティアで活動している私は、今まで他のグループの人達と顔を合わせる機会が少なかったのですが、スペースパークボランティアまつりに参加して楽しみ、ブースで自分も遊びつつ、たくさん交流できた事も良い経験になりました。(松尾)



天ボラの 知識の泉⑧

● 天の川

天の川は夏しか見られない? いいえ、天の川は春夏秋冬いつでも見ることができます。

ただ、夏の星座を流れる天の川は、私達の太陽系が属している銀河系の中心方向を見ていることになり、多くの星が集まって見られるため、明るく見つけやすいのです。

その代わり、冬の天の川は銀河系の外側を見ている事になるので星が少なく、とても暗くなっています。

ちなみに、冬の天の川は冬の大三角の真ん中を横切り、夏の天の川は夏の大三角の中を横切っているのですよ。(降矢尚)



内田博士の 魂の叫び!! ③ 『ものごとの向き不向き』

子ども達にクレヨンを渡すと、喜んで受け取ります。そして何も言わなくても皆、紙いっぱいに思い思いの絵を描きます。「なにを描いている?」と訊ねると「遊んでいるところ!」やら「電車と自動車と僕…」などと喜んで答えてくれます。そして、完成した絵を自慢し合い、誉められると満面の笑みを浮かべ喜びます。同じように、大人に紙とクレヨンを渡すと、別に何か描いてくれと頼んでいる訳じゃないのにも関わらず、「私(俺)、絵はダメ!」と答え、紙とクレヨンを受け取ろうとしません。

学生ならば、「私、数学は向いていない!」やら「俺は英語が苦手!」と、ひとつやふたつ以上あるし、又、大人になればなったで「人と接するはちょっと…」などと自ら『不向き』を決めてしまいますが、「じゃ、何が向いているの?」の問には皆、首を傾けるのでした。

成長するに連れて周囲との“比較”から徐々に切磋され、殆どの人が「絵はダメ」「英語は苦手」と答えるようになります。いったい、誰と比較するのだろうか。英語はアメリカ人より劣るのは当然だし、絵に関しては画家には及ばない。勿論、数学は学者じゃない訳だから…。結局

は比較の対象は自分の周りに存在するごく限られた人だったかと思うと、画家やアメリカ人と比較しては、“やっぱり私は絵が下手で…”などと、つまりは、「思い込み」であることが意外に多いのではないでしょうか。

私事、学生時代デザイナーに憧れたことがあります。絵は下手だからデザイナーには向いていないと思いました。そんな私を見ていた恩師は、「君の絵は独特な表現だから、もっと崩して書いたらうがいいよ」のひと言。その言葉を信じた私はデザイナーとして生計を立てていたこともあります。

もっと正直に、もっと素直に、興味のあること無いことに関わらず、時には手を変え品を変え何でも挑戦してみること。そして、ひとりの人間の人生を大きく拓くきっかけの一言を与えることの出来るS.P.Vを、新メンバーとともに目指してゆきたいものです。



今号のきら星☆さん 天文グループ 渡辺さん

隣人でさえ顔もおぼろげな現代社会…繰り返される見慣れた風景・日常…その中で日々更新される小さな変化を私たちはつい見逃しがちです。しかし、自然は何時も「こつこつ」と正確に脈動し続けては、時にそのエネルギーの爆発や偶然の奇跡で私達を驚かし、また感動にと誘うのです。

3月29日、エジプト、北西部の砂漠地帯にあるサル

ームで皆既日食を観測しました。月と太陽が出会い、それぞれの大きさと距離の偶然が重なり、真っ青な空から地平線を夕焼けのように染めて金星が浮かびあがると同時に、月に覆い隠された太陽からあふれた光の雲がダイヤモンドの様に輝き、皆既が始まります。4分間のドラマは予備知識を吹き飛ばし、カメラのシャッターを切るのも忘れ今も眼に焼きついています。




イベント情報


Event Information

サイエンスフェスティバル

10:00~16:00

●7/15(土)~17(月) ●8/12(土)~16(水)

毎回、好評を博しています科学の実験工作をお楽しみいただく「サイエンスフェスティバル」が、今回も、さらにグレードアップし開催されます。メニューは、ご来館いただけてからのお楽しみ。乞うご期待!!

S.P.V 活動情報(～9月)

案内サービス “昔懐かし”紙芝居

◇平日11:30～、土日祝11:30～、14:30～(約15分)
☆随時実演

鉄道ジオラマ ジオラマショー案内

◇平日11:00～のみ、土日祝11:00～、15:00～(約20分)

科 学 かんたん科学工作ほか

◇土日祝10:00～16:00(展示ゾーン入館者)

天 文 駅前観望会

◇7/1(土) 19:30～20:30
8/9(水) 19:00～20:00
9/2(土) 18:30～19:30



*科学館休館日を除く。なお都合により活動が休止となることがありますのでご了承下さい。

あなた的情熱が大きな夢を育てます ボランティア大募集

期間／7月15日(土)～8月14日(月)

今年も生涯学習者を大募集します。興味のある方、初めてなのでちょっと… という方。やる気と情熱さえあれば大丈夫!私たちといっしょに楽しんでみませんか?お気軽にお問い合わせください!

応募方法

- ①募集チラシ・郵便はがきで必要事項を記入し郵送
- ②22階展望ロビーで直接応募
- ③館HPから応募

必要事項

住所・氏名・生年月日・TEL・ご職業・希望活動グループ・オリエンテーション受講希望日・志望動機

登録前オリエンテーション日程 8/24(木)または8/27(日)・時間14:00～16:00・場所:ふれあい科学館多目的研修室

希望活動グループ	活動 内 容
案内サービス	展望からの景色・歴史案内、紙芝居
鉄道ジオラマ	Nゲージジオラマの案内説明
科学	実験科学工作のお手伝い
天文	天体観望会のお手伝い

- ◆15歳以上、無償参加可能な方(昼食代・交通費なし)
- ◆鉄道ジオラマへの応募はJR関係者

★詳しくは募集チラシやポスターをご覧ください。

★S.P.Vの楽しくてタイムリーなボランティア活動情報をHPでお知らせしています

HPアドレス <http://www.spacepark.city.koriyama.fukushima.jp>

募集や活動等についてのお問合せは……ふれあい科学館 TEL 024(936)0201まで

編集あとがき

S.P.Vも順調に飛行を続け、3年目となりました。S.P.Vつうしんも第9号を迎える印刷版にグレードアップし、なんと天文グループ(2名の天ボラ星人)はエジプトでの皆既日食観測の様子がYahooニュースに掲載される!という世界デビューを果たしました。この勢いでは、宇宙制覇する日も近いかも…?しません。まだまだビッグアイ上空をさ迷っている他のメンバーと一緒に、来館されたお客様の笑顔をエネルギーとしてもっともっと力強く!遠くまで飛んで行きたいと思います。(星) ふ

